

# 水道ビジョンの策定について

湯沢市 建設部 上下水道課



# 水道事業の概要



## 概要

- 事業数
  - 上水道 2 地域
  - 簡易水道 2 2 地域
  - 小規模水道 7 地域
- 計画給水人口 51,534人
- 計画一日最大給水量 27,446<sup>m<sup>3</sup></sup>
- 給水人口 36,391人
- 給水戸数 15,582戸
- 一日平均配水量 12,181<sup>m<sup>3</sup></sup>
- 管路延長 約620km

※令和3年度末現在

# 水道ビジョン策定の趣旨

市町村合併後、平成19年に湯沢市水道ビジョンを策定し事業運営を行ってきました。しかし、**水道事業を取り巻く環境は日々変化しており**、以下の課題が生じています。

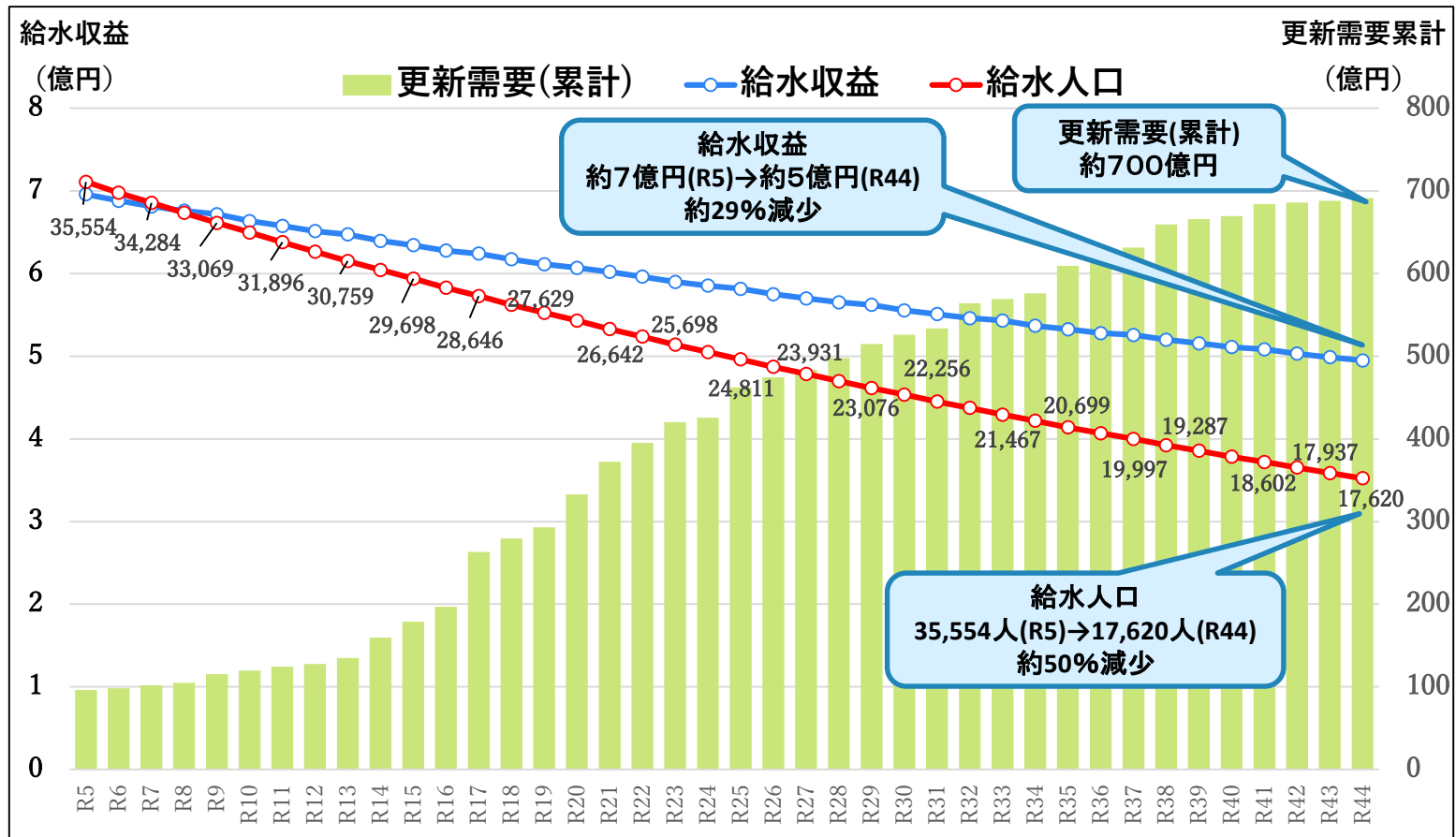
## 課題

- ・ 人口減少に伴う水需要の減少による給水収益の減少
- ・ 過去に整備された水道施設・水道管の老朽化に伴う更新需要の増大
- ・ 地震を始めとする様々な自然災害への対応
- ・ 計画的な施設、設備更新のために必要な資金の確保
- ・ 水道事業に携わる職員数の減少による人材確保および育成

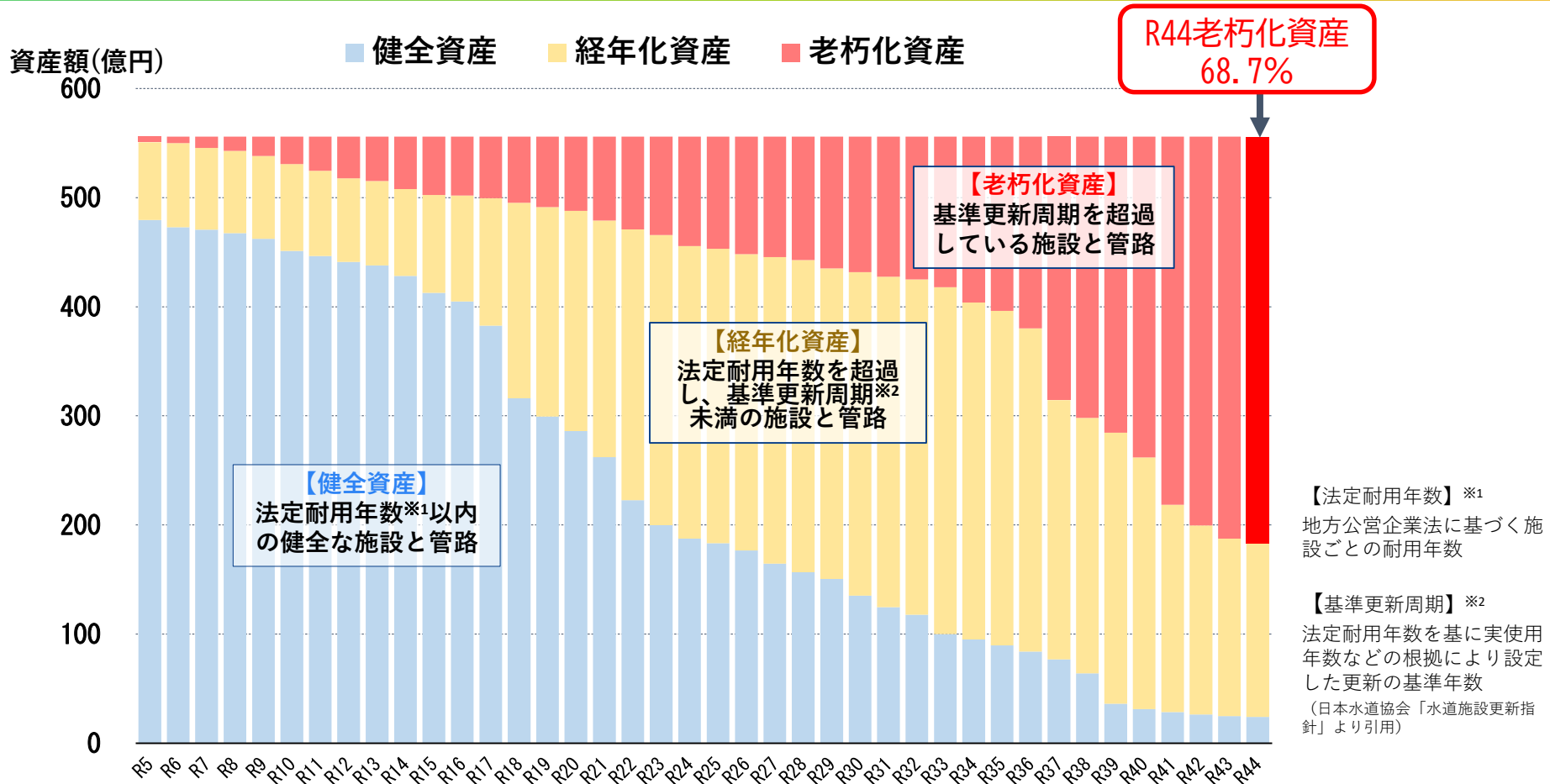
課題を解決し、安全な水の安定供給を維持するためには、**水道事業の基盤強化を図ることが必要**

新たな  
**水道ビジョン**  
が必要!!

# 水道施設、管路の更新需要(累計)および 給水人口と給水収益の将来予測



# 更新を実施しない場合の資産の健全度



# 国の新水道ビジョンの目指すべき方向性

厚生労働省

## 水道の理想像

時代や環境の変化に対して的確に対応しつつ、水質基準に適合した水が、必要な量、いつでも、どこでも、誰でも、合理的な対価をもって、持続的に受け取ることが可能な水道

〔強靱な水道〕

強靱

自然災害等による被災を最小限にとどめ、被災した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道

〔安全な水道〕

安全

全ての国民が、いつでもどこでも、水をおいしく飲める水道

〔水道サービスの持続〕

持続

給水人口や給水量が減少した状況においても、健全かつ安定的な事業運営が可能な水道

50年後、100年後を見据えた水道の理想像を提示し、関係者間で認識を共有

※出典：新水道ビジョン【参考】（平成25年、厚生労働省）

# 市の新たな水道ビジョンの策定に向けて

## 水道事業の現状と課題の整理

- ・ 水道施設及び事業経営に関する現状と課題

## 水道の理想像と目標設定

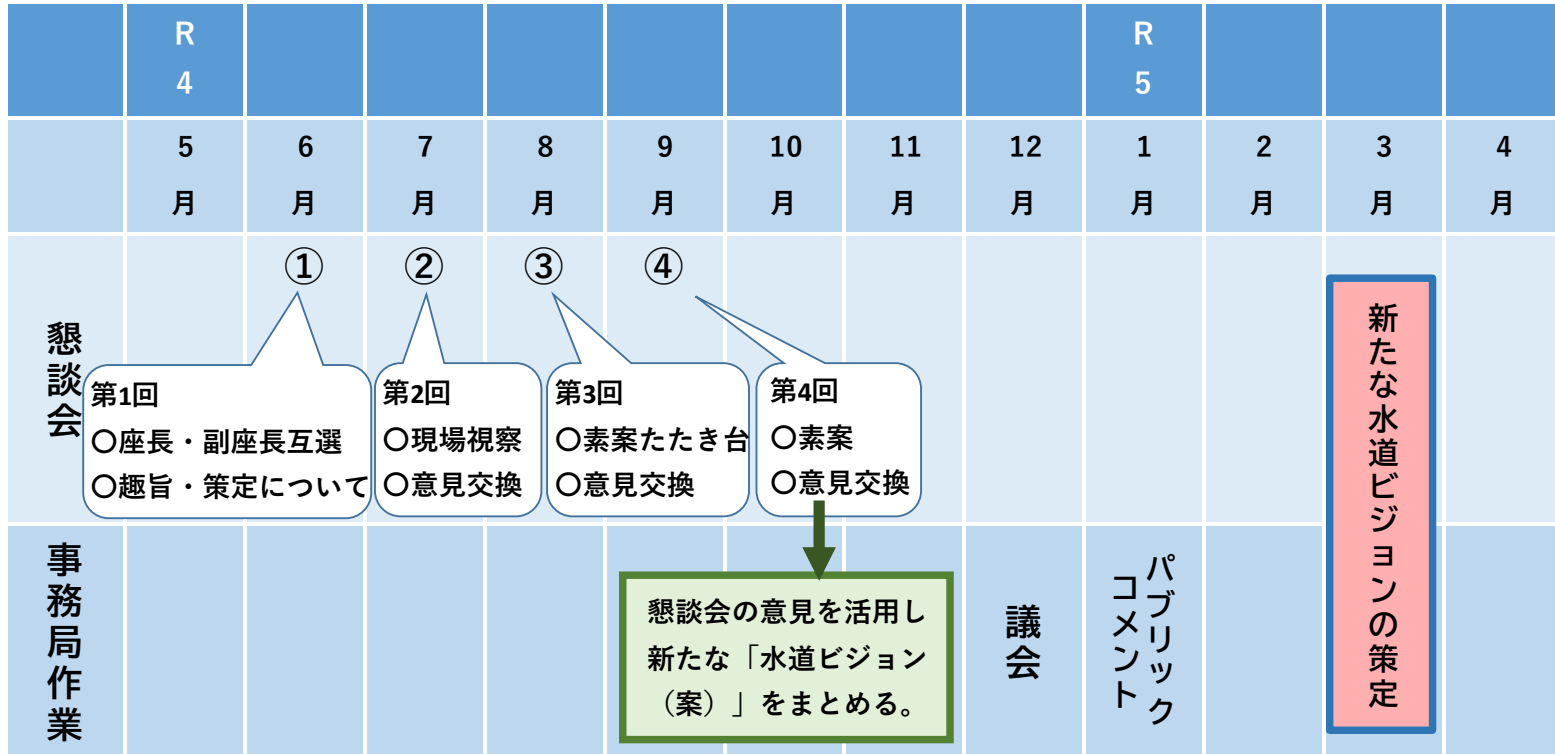
- ・ 50年、100年先を見据えた水道の理想像の設定

## 推進する実現方策

- ・ 目標を達成するための推進すべき具体的施策の設定

## 新たな水道ビジョンの策定

# 湯沢市上下水道事業懇談会の進め方について



- ① R4年6月 策定の趣旨、課題と目指すべき方向性
- ② R4年7月 水道施設の現場視察、意見交換
- ③ R4年8月 「新たな水道ビジョン素案たたき台」について意見交換
- ④ R4年9月 「新たな水道ビジョン素案」について意見交換